

《入選》

いろんな形があつていい

中央中学校 1年

すみだ 角田 ななは 奈巴 さん

差別はどうして起こるのか。

私は差別は、差別の対象にされる人が普通ではないと決めつけられて、起こっていると思います。そもそも普通とは、何なのでしょう。差別は、身の回りの様々な場面で起こっています。具体的な例を三つあげます。

一つ目は、学校生活の中で。この人なら何をしてもおこらないから何でも言っている、だけどあの人は、おこると怖いから嫌な言葉は言わないようにしよう。そういうことも差別の対象になると思います。誰だって嫌な言葉を言われると、傷つくのだ

から、どんな人でも、相手の気持ちを考えることが大切だと思います。

二つ目は、トランスジェンダーの人について。よく、ユースなどで、トランスジェンダーの人への差別や偏見についての話を耳にします。私はいつも、どうして人それぞれ個性なのに、その人たちは冷たい視線を向けられなければならないのだろうと思います。

三つめは、人種差別について。肌の色が他の人と違うだけで差別の対象になるのは良くないと思います。だから、最近ではうすいオレンジ色のことも、「肌色」ではなく「だいたい色」と言われていることに私も賛同します。うすいオレンジ色を「肌色」と言うことで、肌の色はうすいオレンジ色が普通だという基準を定めてしまっているからです。

このように、差別は人の思いこみや、決めつけによって生み出されていると思います。形にも、丸だけでなく四角や三角といった、様々な形があるように、人にも様々な個性や感性、見た目があつて、それらを尊重し合うことで差別はだんだんなくなっていくと、私は感じます。互いを認め合い、相手への理解を深めていくことで、皆が居心地良く、暮らせる社会になると思います。

私は、これからもっと、相手の気持ちを考えることを大切にしていきたいです。そして私自身の個性も大切に生きていきたいです。